

## 第 1 回奈良市移動等円滑化促進協議会会議録

開催日時	令和元年 1 月 2 9 日（金）午前 1 0 時から 1 2 時まで		
開催場所	はぐくみセンター 1 階ボランティアインフォメーションセンター会議室		
出席者	委員	三星委員、室崎委員、矢野委員、松本委員、元山委員、東浦委員、大曾根委員、高橋委員、山本委員、山田委員(代理)、高見委員(代理)、西本委員、黒委員、村上委員(代理)、中岡委員(代理)、松井委員(代理)、松尾委員、田中委員、今中委員(代理)、植田委員、米浪委員(代理)、木村委員(代理)、荻田委員(代理) 【計 2 3 人出席】（欠席委員：内藤委員、江崎委員）	
	事務局	福祉政策課：伯耆課長、森西課長補佐、西浦係長、元根、中村信、中村愛 都市政策課：若木係長、西窪	
開催形態	公開（傍聴人 1 人）	担当課	福祉部 福祉政策課
議題 又は 案件	1 会長・副会長の推薦について 2 平成 3 0 年度末における特定事業計画の進捗状況について 3 (仮称)奈良市バリアフリーマスタープラン(素案)について		
決定又は取り 纏め事項	「平成 3 0 年度末におけるバリアフリー特定事業計画の進捗状況」及び「(仮称)バリアフリーマスタープラン(素案)」について説明を行った。各委員からの意見等を踏まえ、マスタープランの修正を行い、会長・副会長の了承後、パブリックコメントの実施に向け進めていくことを決定した。		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
<p>1. 開会挨拶</p> <p>2. 委員紹介</p> <p>3. 会長・副会長の推薦について ⇒委員の互選により、会長に三星委員、副会長に室崎委員が選任された。</p> <p>4. 平成 3 0 年度末における特定事業計画の進捗状況について ⇒特定事業計画の進捗状況について事務局より報告。</p> <p>【意見】</p> <p>村上委員(代理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青延長押ボタン付き信号機の整備完了とした 4 か所の交差点は、電線を地下に入れないといけない路線になっているため、代替として秒数の変更により対応している。</li> </ul> <p>山田委員(代理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近鉄奈良駅のエレベーターは基準には対応できていないが、更新時期に合わせてエレベーター本体を大きくする整備を検討している。</li> </ul> <p>室崎副会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未完了事業について、完全な整備は予算上難しい場合であっても、簡易的に工夫で行える部分</li> </ul>			

に対する整備についても評価できるとより取り組みが進むのではないか。

#### 三星会長

- ・事業計画で実施できない理由を明確に示し、当事者や市民の了解を得た上で、代替策について検討する。

### 5. (仮称) 奈良市バリアフリーマスタープラン(素案)について

#### 【意見】

#### 三星会長

- ・教育管轄である学校施設(特に小学校、中学校)は、国のガイドラインには明示されていないが計画に入れたほうがよいと思う。文部科学省と国土交通省等が連携して整備していくことになっている。目的は障害者の教育機会の確保と災害を鑑み、地域の最重要施設として位置づける。すでに計画の中にも入っているがもっと押し出してはどうか。
- ・奈良市は観光都市であり、「ユニバーサルツーリズム」の言葉を盛り込みたい。誰もが楽しめるツーリズムとして推進していきたい。
- ・全体として、本協議会が関わりながら改善していく旨を計画に入れておく。
- ・促進地区の指定について、「鉄道駅とその周辺」と示しているが、鉄道駅を中心とした区域指定にとらわれないケースもあるため、誤解を招かないような書き方に修正する。

#### 山本委員

- ・LGBTの方の視点がないので、マイノリティの方への支援・サポートも含めた内容を入れたほうがよいのではないか。

#### 元山委員

- ・資料編中「総人口と高齢者数の推移」によると、奈良市の人口配分のうち、生産年齢人口として15～64歳でまとめられているが、それぞれの世代によって求めていることは違うのではないか。特に子育て世代については、意見をどこで取り入れながら形作るか、次の世代の資産をどうやって守っていくか、出産後の育児環境など、今の世代は非常に関係性が希薄なため、いろいろな世代が交流できる場所が必要ではないか。

#### 東浦委員

- ・地域では、支援を必要とする方も含めて、住民が気軽に通える居場所づくりや、心のバリアフリーに関連したことも進めている。

#### 大曽根委員

- ・地域の自治会や地区社協などが地域を支えていくことは大事であると理解している。万年青年クラブとしても、自分たちのできる範囲で楽しく皆さんのお手伝いができる会でありたい。

#### 高橋委員

- ・観光都市としての表玄関となるJR奈良駅・近鉄奈良駅のうち、近鉄奈良駅のエレベーター整備や、大型商業施設がないことによるトイレ不足の問題がある。市観光協会では市からの委託を受け、「おもてなしトイレ」の設置を進めているが、全く足りない状況であり、観光客を意識した豊富なトイレの整備が必要である。エコロジーの観点からシェアバイクを使った観光も重要である。

#### 室崎副会長

- ・奈良市の目指す姿として、地域福祉計画の『ひとりぼっち0』を共通のキーワードとしている。『ひとりぼっち0』ではハード部分が見えにくい。ハードとソフトを一体的に進めていくということになると、「だれひとり取り残さない」という言葉のほうが、少数の人に対しても配慮していくというイメージができるのではないか。

#### 高橋委員

- ・移動等円滑化促進地区の中に、大安寺の新駅周辺があるが、新駅周辺のまちづくり懇話会を市で主催されており、そこでの意見交換も考えられたほうがよいのではないか。

#### 矢野委員

- ・車椅子のタイヤがグレーチングの溝にはまるなどの問題について、改善されつつあることにありがたく思う。
- ・多目的トイレの整備については広いトイレよりも、半分くらいのスペースでも構わないので、数を増やし、トイレ不足の解消を進めてほしい。
- ・歴史的建造物のスロープについては、国際的な観光都市としての美観も考えた、自由に取り外しができるスロープを考えてほしい。
- ・何を作るにしても、事前に高齢者や障害者など当事者の意見を聞いてもらえれば、アドバイスすることもできるだろうし、もっと効率的なものができるのではないか。
- ・ヘルプマークについては、一般の方が知らなければ意味がないため、PR活動も進めていただきたい。

#### 松本委員

- ・電車内における電光掲示板の表示について、誰もが見やすいものとなるよう字幕表示の工夫をしていただきたい。

#### 室崎副会長

- ・本日の協議会では事業者の方々からの声を聞けなかった部分はあるが、普段感じておられる内容を取り入れながら、実感に沿った形の計画につながる意見交換ができた。

#### 三星会長

- ・提案されたマスタープラン(素案)については、本協議会であがった意見を前向きに反映させることを前提にお認めいただいでよろしいか。

⇒委員了承